

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
18時31分50秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051010 秘書課秘書係
事務事業 02230 表彰・褒章事務

所属長名 澤田 一樹
担当者 大屋 勝敬
電話番号 0566-71-2201

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	006	行財政運営		
項目（施策）	001	19行財政運営		
施策の方針	001	19行財政運営その他		
事務事業	001	表彰・褒章事務		
事業期間	昭和25年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	市政功労者表彰条例、同条例施行規則、一般功労者表彰及び特別感謝状贈呈要綱、市長賞の交付に関する要綱等			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	発展祭（市政功労者、一般功労者、特別感謝状）、叙勲受章者への祝福、叙勲・褒章・表彰候補者の報告、市長賞交付（各種大会市長賞及び副賞の交付）等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	5,028	4,785	5,980
事業費	2,508	2,265	3,460
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,508	2,265	3,460
人件費計	2,520	2,520	2,520
正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	発展祭表彰者（41人） （5/6発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（23人） 市長賞交付（33件） 式典及び講演会入場者数（1,100人） 講演会申込者数（687人）	発展祭表彰者（35人） （5/12発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（22人） 市長賞交付（32件） 式典及び講演会入場者数（1,200人） 講演会申込者数（1,575人）	発展祭表彰者（30人） （式典及び講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） 叙勲受章者への祝福（22人） 市長賞交付（32件）

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
18時31分50秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051010 秘書課秘書係
事務事業 02230 表彰・褒章事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	自治体独自の式典として開催し表彰を行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	式典に加え講演会を開催し多くの方が参加できます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	多くの方が参加できるように開催曜日や時間を毎年検討します。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣自治体においても同様な式典を行っており規模は適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>発展祭講演会に多くの方が参加していただくため、平成29年度から休日に開催しています。定員超過の場合は抽選を行います。サテライト会場の設置を検討するなどできる限り多くの方に聴講していただくように人数の調整を行っています。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来のような大規模な講演会の開催は難しく、小規模なアトラクションなどでの開催を検討します。</p> <p>なお、市政功労者や一般功労者等への表彰は、今後も継続して実施します。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	<p>本事業においては、2次評価を実施していません。</p>

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02233 広報あんじょう発行事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	006	16参加と協働		
施策の方針	002	市民参加及び協働のまちづくりの推進		
事務事業	001	広報あんじょう発行事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	読みやすい広報紙を通じて、市政情報を容易に得ることができます。
手段	市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事とします。
事務内容	令和2年4月～ 毎月1日の1回発行 (令和2年3月まで毎月1日・15日の2回発行)

【コスト】

(単位：千円)

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	61,612	62,541	120,311
事業費	42,082	43,326	106,136
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	626	1,638	25
一般財源	41,456	41,688	106,111
人件費計	19,530	19,215	14,175
正規（人）	3.10	3.05	2.25
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	広報紙の発行 発行部数 1,782,800	広報紙の発行 発行部数 1,809,000	広報紙の発行・配布 発行・配布部数 924,000部

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02233 広報あじょう発行事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
アンケートによる広報の満足度	%	75.00 91.90	75.00 86.36	75.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市政に関する広報紙であるため		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	インターネットの普及により、情報ツールが多様化しているため		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	広報紙に対する満足度が高水準を維持しているため		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	特色のある特集記事に取り組んだため		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の多くの自治体と同様に月1回の発行としたため		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和2年4月号から月1回の発行とし、紙面の大幅なリニューアルを行いました。今後も紙面作成にあたっては、これまで提供してきた情報の数を維持しながら、レイアウトや掲載方法を工夫し、読みやすい紙面づくりに努めます。また、市民への情報伝達の多様化を図るため、広報紙の電子化を検討します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	006	16参加と協働			
施策の方針	005	情報化の推進			
事務事業	001	ホームページ（望遠郷）事業			
事業期間	平成 8年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民、安城市の情報を必要とする人が
目的	ウェブサイトによりいつでも最新の情報を得ることができます。
手段	ウェブサイトにより、多量の最新情報を迅速かついつでも見られるよう提供します。
事務内容	市公式ウェブサイト「望遠郷」の保守・管理 掲載情報の更新

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和 2年度 予算額
トータルコスト	8,023	7,371	7,517
事業費	3,613	3,906	4,682
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,014	2,384	1,200
一般財源	1,599	1,522	3,482
人件費計	4,410	3,465	2,835
正規（人）	0.70	0.55	0.45
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
【事務事業活動実績】	最新情報の更新 更新件数：9,781件	最新情報の更新 更新件数：9,111件	最新情報の更新 更新件数：10,000件

事務事業評価シート（2/2）

4頁
令和2年8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
トップページのアクセス件数	千件	1,100.00 1,023.00	1,000.00 1,088.00	1,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の情報を提供するホームページであるため		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	インターネットが普及し、手軽にホームページが閲覧できるため		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	近隣他市と同程度又はより多くの人がホームページを閲覧しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	スマートフォン用ページでタップによる架電を可能としたため		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	全ての自治体が市政情報提供のためホームページを運営しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	より多くの情報をタイムリーに市民に発信するため、新たな情報を掲載するとともに、適正な更新を行いながら事業を継続します。 また、セキュリティを強化し、市民等がより安心安全にホームページを閲覧できるようにします。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 2年 8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	006	16参加と協働		
施策の方針	001	16参加と協働その他		
事務事業	001	市政情報提供事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・市政情報提供事業 ・マスメディア情報発信事業 令和元年度からLINEを活用したセグメント配信のシステムを導入し、友だち（登録者）が必要とするジャンルの市政情報の提供を開始しました。			

【事業分析】

対象	市民が
目的	様々な媒体から、市政に関する情報を得ることができるようにします。
手段	・ガイドマップ（日本語版）の作成 ・市政映画の製作 ・新聞、テレビ等報道機関への情報提供 ・LINEによる市政情報の提供
事務内容	ガイドマップ、市政映画の作成、報道機関との連絡調整、LINEによる市政情報の配信

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	6,298	10,131	7,713
事業費	1,573	3,831	3,303
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,573	3,831	3,303
人件費計	4,725	6,300	4,410
正規（人）	0.75	1.00	0.70
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ガイドマップの作成（増刷）7,000部 市政映画の制作1回 報道機関への情報提供回数 558回 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドマップの作成（日本語版5,000部、英語・ポルトガル語版各1,000部） 市政映画の制作 1回 報道機関への情報提供回数 542回 LINE友だち登録数 2086人 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドマップの作成（日本語版5,000部増刷） 市政映画の制作 1回 報道機関への情報提供回数 500回 LINE友だち登録数 2400人

事務事業評価シート (2/2)

6頁
令和2年8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
市政映画へのアクセス件数	件	500.00	500.00	500.00
		757.00	575.00	0.00
市政情報の新聞への掲載回数	回	800.00	800.00	800.00
		946.00	992.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市政に関する情報であり、市から提供するべきものであるため		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民からの意見等の実績から、市政に関する市民の関心は高いため		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	市政映画の閲覧数等により市民が市政情報を把握できているため		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	LINEを活用した情報提供を開始し、情報取得ツールを増やした		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	電子媒体による情報提供を充実させたため		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	LINEを活用した市政情報提供について、令和元年度から、情報を8つのジャンルに分類して友だち（登録者）が必要とするジャンルの情報のみ受信できるシステムを導入し、需要と供給のマッチングができるようにしました。今後も、広報あんじょうや市からのお知らせなどを活用して周知を図り、友だち登録者数の増加に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月25日
18時33分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	006	16参加と協働		
施策の方針	001	16参加と協働その他		
事務事業	002	広聴事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	市民の意見・提言等を
目的	施策等への参考にします。
手段	市民からの意見・要望を聴取する機会を設け、市民ニーズを把握します。
事務内容	ご意見BOX（切手不要の専用紙による）、市長への手紙（一般封書、葉書等による）、市長へのメール（ウェブサイトからのメールによる）、市長と語ろう あんトーク、市長とティーミーティング、eモニター制度によるアンケート

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	10,440	10,181	11,761
事業費	1,305	1,361	1,681
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,305	1,361	1,681
人件費計	9,135	8,820	10,080
正規（人）	1.45	1.40	1.60
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	市長と語ろう あんトーク開催回数8 市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数14	市長と語ろう あんトーク開催回数3 市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数15	市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数14

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
メール・ご意見ボックス等の受付件数	件	350.00	350.00	400.00
		555.00	684.00	0.00
市長と語ろう あんトーク参加人数	人	160.00	60.00	0.00
		202.00	61.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市政に関する市民からの意見を聴く事業であるため			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民からの意見の多様化及び件数の増加による			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	メールや手紙等による市民からの意見の受付件数が増加しているた			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	eモニターの年間未回答者を整理し、事務の軽減を図った			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市民の意見を聴くツールは、他自治体と同程度であるため			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市長と語ろう あんトークについて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を当面休止し、市長とティーミーティングについては感染防止に十分配慮のうえ実施をします。今後は、これまでの実績を検証し、課題を整理したうえで次年度以降の実施方針を決定します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。